

# 静岡県立清水特別支援学校 (5年生)出前授業レポート

静岡県埋蔵文化財センター

令和5年10月5日(木)



「学校の近くにある古墳を見に行ったり、古墳やはにわについて勉強したりしてから出前授業に取り組むことができたので、当日は粘土を楽しむことができました。」



静岡県立清水特別支援学校の5年生14人が、はにわについて知り、自分で粘土をこねたり、形を作ったりする目的で、ミニはにわ作り体験を行いました。

## ミニはにわ作り体験



事前に古墳やはにわの勉強をしていたようで、ミニはにわ作りをとて楽しみに待っていました。センター職員が教室に通されると、既に子どもたちはきちんと座って待っていました。準備が整い、初めははにわや古墳の話をしました。次に、ミニはにわの作り方の手順を説明しました。子どもたちは、土の粘土が初めてだったので、少し戸惑いながらも胴体を作りました。途中、ヒビが入るため、少し水をつけながら表面をきれいにしました。腕や鼻などの部品をつけるのが少し難しかったけど、上手につけることができました。リボンをつけた子や馬を作った子など、個性豊かな作品ができて、とてもうれしそうでした。

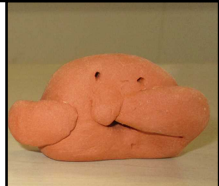
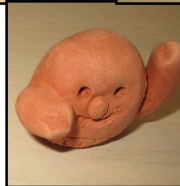
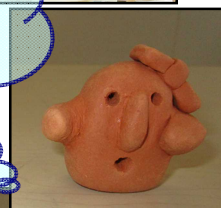
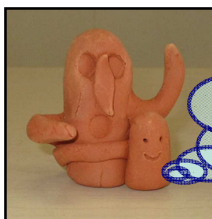
「はにわと土偶の違いを教えてくださいました！」



「かわいくできて大満足！ミニミニはにわも横にいるよ。」

「馬が作りたかったので、できてうれしかった。」

「リボンの付いたはにわがかわいくできてうれしかった。」



### 先生方の感想

「学校の近くにある古墳を見に行ったり、古墳やはにわについて勉強したりしてから出前授業に取り組むことができたので、当日は粘土を楽しむことができました。活動内容については、それぞれの児童が無理なく取り組めたと思います。センターの職員さんは、児童の言葉に耳を傾けてくださり、児童がとても満足そうでした。」